

日本風景街道「伊勢熊野みち」推進協議会

～ H23 ニュースレター 第4号 ～

平成24年3月

第2回「伊勢熊野みち」推進協議会を開催しました

平成24年2月19日（日）に紀北町内のゆうがく邸（地元のNPO法人ア・ピース・オブ・コスモスの地域づくり活動拠点）において、第2回日本風景街道「伊勢熊野みち」推進協議会が開催されました。

地元で活動する6団体、国道などの道路管理者、町や県などの9所属から合計30名が参加して、活動報告や意見交換のほか、ゆうがく邸で実施している体験プログラムのひとつであるピザ作り体験が行われました。

日中は好天に恵まれ、参加者は改修された築60年の古民家で交流を深めました。



① 活動報告

熊野川体感塾からは、昨年の台風による被害や復興状況、活動再開の課題や見通しについて説明がありました。

松本峠・熊野市部会からは、昨年11月にソーシャルレジャーとして実施した、「松本峠ピオトープの整備と木本まちなかウォーク」の結果が紹介されました。

この取組は、新たに作成した木本町のマップを使って「まち歩き」を行うもので、古道魚まち歩観会が実施している方法を参考にして、プレートを用いてガイドをしていることが報告されました。

紀勢国道事務所からは、紀勢自動車道の開通予定時期について、情報提供がありました。



② 意見交換

「構成団体間の連携促進と情報発信」をテーマに、3つの班に分かれて意見交換を行い、最後に各班から結果が発表されました。

主催するイベントや活動を通して、地元の商店でおみやげ品の販売が増えたことによって、今まで以上に自分たちの取組が地域で認められるようになった事例が紹介され、これからは、「経済効果」を考えて、地元を巻き込んだ活動展開の必要性について、議論した結果が報告されました。

また、「伊勢熊野みち」が実施している、みちづくり研究会をきっかけに、団体間で交流の始まったことが発表されました。



③ ゆうがく邸の施設案内

昼食の前に、ゆうがく邸の施設案内がありました。
国土交通省からの補助を受けて、大規模な改修に至った経過をはじめ、構造や大黒柱などについて説明を受けました。

また、農業などのプログラム体験で宿泊できるようにユニットバスを備えた個室や、芸術家の作品を展示するギャラリーなどの案内がありました。



施設案内の様子

④ 石窯ピザ作り体験

参加者はゆうがく邸のプログラム体験で、ピザ生地を伸ばし、具をトッピングしました。



石窯

多くの参加者は初めてのピザ作りでしたが、桜のチップを燻した石窯で焼いたピザの出来は上々で、本格的な味わいに大満足でした。



ピザ作り体験

⑤ 助成金と情報発信の講座

午後からは、特定非営利活動法人津市NPOサポートセンター理事長の川北輝さんから「助成金の活用と情報発信」をテーマに講座がありました。

情報発信はブランド作りであることや、情報は発信し続けることで、価値の向上につながることなど、実践経験に基づく具体的で分かりやすい説明と事例の紹介がありました。



講座

活動をPRしよう

日本風景街道「伊勢熊野みち」では、推進協議会を構成する地元活動団体のイベントや取組をホームページなどで紹介しています。実施予定や結果について、事務局の景観まちづくり室へ情報提供をお願いします。

<http://www.pref.mie.lg.jp/KEIMACHI/HP/sb/sbindex.htm>

お問い合わせ・連絡先はこちら

【事務局】
三重県 県土整備部 景観まちづくり室
まちづくりグループ（担当：大谷）
TEL：059-224-2747
FAX：059-224-3270
Mail：keimachi@pref.mie.jp
